

■キャッシュレス決済の導入について

(木曽地域公共交通利便増進実施計画から抜粋)

- ・ 広域幹線については全路線に、支線については町村が希望する路線にQR決済を導入することで、小銭の準備や両替の手間などを省き、利便性の向上を図る。
- ・ 車内に掲示するQRコードは金額が固定されたものを基本とすることで、支払いの処理スピードを高め、運行の定時性を確保する。

(導入の流れなど)

○PayPay社と交通事業者が契約を締結する。

：車両ごとの登録が必要。

：使用料の支払いは不用、手数料(1.98%)を差し引かれた金額が入金される。

○入金された金額は、同額を郡法定協口座へ振り込み。

(支線の場合は町村へ振り込み)

(QR決済による支払いイメージ)



- ① 降車時、利用者がQRをスマホで読み取り
- ② (金額が固定されたQRの場合)
スマホに表示された金額を運転士へ提示
(金額を入力するQRの場合)
運賃額を利用者が入力し、スマホに表示された金額を
運転士へ提示



- ③ 運転士がスマホ画面で支払いを確認
→降車